

UNITED FOR A JUST FUTURE

IndustriALL Global Union 3rd Congress
14-15 September 2021

動議案: ミャンマーに関する動議

ミャンマー労働組合総連盟（CTUM）に加盟するミャンマー製造労働者連盟（IWFM）は、2021年9月14～16日開催のインダストリアル大会の承認を得るために本決議を提出したい。

2021年2月1日、ミャンマーで新議会の宣誓式と新たな組閣の数時間前に国軍によるクーデターが発生し、民主的に選出された国民民主連盟（NLD）指導者のウイン・ミンとアウン・サン・スーチーおよびその他大勢の政治指導者が拘束された。それ以来、軍事政権はミャンマーで政治家や活動家、労働者に対して、逮捕、殺害、その他の形態の暴力を行使している。

数十万の市民と労働者が国中で平和デモに参加した。労働組合は、中心となって市民不服従運動を組織し、クーデターと残虐な人権侵害、法的に認められない殺害、逮捕、強姦、村落・病院・教会の破壊や放火に反対している。少なくとも945人が国軍に殺害され、7000人以上が逮捕され、1900人以上の逮捕状が発行された。

すでに数十万人の労働者が失業した（少なくとも25万人の衣料労働者、50万人の建設労働者、12万5000人の教員、観光部門だけで6万5000人）。デモに参加している労働組合員と労働者は、軍に迫害されている。多くの労働組合指導者が身を隠さざるを得なくなっており、数人が逮捕され、パスポートを無効とされた者も多い。人々は夜間に自宅から引きずり出されて逮捕されている。軍や警察での拘束中に残虐な拷問を受け、しばしば死者が出ている。多くの職場と工業地帯（ラインタイヤやシュエピタなど）が軍の猛攻に遭っている。国連の推定によると、2月1日以降、20万人が強制退去させられた。

国軍はCOVID-19パンデミックの再燃に乗じて、民主的反対勢力に同調する医師や看護師、医療関係者に対する弾圧を強めている。病院が搜索され、ボランティアが逮捕された。軍は海外からの医薬品の到着を妨害し、酸素ボンベを没収している。多くの病院が閉鎖されたり、軍の管理下に置かれたりしている。刑務所では、政治犯がCOVID-19にさらされている。

多くの衣料工場では、労働者（主に女性）が予防器具なしで働いており、COVID に感染した労働者が他の労働者と並んで仕事を続けている。

医療施設の 60% が稼働しておらず、COVID ワクチンやその他の救命ワクチンを接種することができない。ミャンマーの公衆衛生専門家の予測によると、直ちに予防措置を講じなければ、国民の半数が COVID-19 のアルファ変異株やデルタ変異株に感染する恐れがある。

グテレス国連事務総長は、「ミャンマーで続く国軍の残忍な暴力」を非難、「ミャンマー国民と、平和で安定した繁栄するミャンマーを達成するという国民の目標を引き続き支持する」と繰り返すとともに、「断固たる明白な国際対応」と「基本的人権の侵害に終止符を打ち、民主主義への道に戻る」ことも要求した。

国際組織が発表した最近のデータは、極めて憂慮すべき内容である。

●世界銀行は、2021 年 7 月のミャンマー経済モニターで、クーデターと COVID-19 パンデミックが重なって、ミャンマーの GDP は 2021 年に 30% 減少するであろうと強調している。

●UNDP は、短期的に 2500 万人（国民 5400 万人のほぼ半分）が絶対的貧困に陥ると宣言した。

●ILO は次のように推計した。「2021 年前半には労働時間の約 14% が失われ、これは少なくとも常勤労働者 220 万人の労働時間に等しい。2021 年第 2 四半期には経済が約 6% 収縮し、120 万人の雇用が失われるだろう。女性は男性よりも大きく失業の影響を受けた。最も大きな打撃を受けた重要部門は、建設、衣料、観光・接客で、それぞれ約 35%、31%、25% 縮小し、労働時間の相対的損失はさらに大きい。

平和的抗議者に対する軍の暴力行使が拡大しているため、ミャンマーの労働組合は、国の将来全体を危険にさらしている深刻な政治・経済・社会・医療緊急事態に取り組むために、強力な協調的国際行動の差し迫った必要性を繰り返し述べている。

ミャンマーの労働組合は、最近発足した国家統一政府（NUG）（さまざまな政党や少数民族の代表が参加）と緊密に連携して活動している。NUG は、軍の弾圧と国全体の破壊に反対して、民族や宗教の違いに関係なく、ロヒンギャも含めてミャンマーの人々を支援して活動している。NUG はロヒンギャについて、自発的で尊厳ある安全な帰還の基本的条件である市民権の尊重を約束した。

ミャンマーの労働組合は、国連信任状の承認とそれに対するすべての国連加盟国政府の全面支持を求めて国連総会で闘っている NUG を、全面的に支持している。

ミャンマーの人権状況に関する国連特別報告者は 2 月 1 日から、国軍の力を抑えて退陣させるために、軍の収入を断ち切る包括的経済制裁の採択に尽力している。欧州連合と加盟 27 カ国、米国、カナダなど、いくつかの国々は、国軍が管理する主な会社に対する制裁を導入しており、宝石、林業および鉱業部門

の企業をターゲットにしている。主要な軍事政権指導者に対して金融活動禁止令と旅行規制が出された。軍事政権は石油・ガス部門の収入に依存するところが大きい。その主たる収入源を断つために、軍事政権ボイコットと制裁発動を求める組織だった国際要請が必要である。

そこで、インダストリアル・グローバルユニオンと全世界の加盟組織は、

- 以下によって、ミャンマーの軍事政権に対する包括的経済制裁を求めるキャンペーンを支持する。
 - 各国政府に対し、多国籍企業と世界的ブランドに圧力をかけ、ミャンマーで事業を中止させ、投資を引き上げさせ、新規発注をやめさせ、取引関係を停止させるよう求める。
 - 貴国の多国籍企業と世界的ブランドに対し、労働組合との緊密な対話によって、労働者の権利および受給権、特に工場閉鎖の場合にサプライヤーによる労働者への補償金支払いを確保することを条件として、ミャンマーで事業を中止し、投資を引き上げ、新規発注をやめ、取引関係を停止するよう要求する。
- 自国政府に圧力をかけ、軍事政権に対する（特に石油・ガス、保険および金融部門の）包括的政治・経済制裁ならびに軍事コングロマリット（MEC、MEHL および国有石油ガス公社 MOGE）と軍首脳を標的とする制裁を要求する。
- 自国政府に圧力をかけ、以下を要求する。
- 国連総会で NUG の資格を認めること。
- ミャンマー軍事政権は、人権・労働権の行使だけを理由にミャンマーで投獄されている、すべての政治指導者、労働者、労働組合員および人権擁護者を無条件で即時釈放すること。
- 平和的にのみ活動したことを理由に労働組合員と労働運動家に対して発行された逮捕状すべての取り消しを要求し、ミャンマーにおける結社の自由と表現の自由に対する攻撃の中止を要求すること。
- 包括的・世界的な武器禁輸を求める国際キャンペーンを支援すること。
- フォローアップのために、ミャンマー国軍関連の事業取引とのつながりに関して、インダストリアルにあらゆる情報を提供すること。
- 各国政府に対し、ミャンマーで NUG と労働組合を通して人道援助を提供するよう要求すること。

インダストリアルは、引き続き ITUC およびグローバル・ユニオン評議会と活動を調整しながら、軍事政権の恐怖支配を効果的に終わらせてミャンマーを民主主義への道に戻し、労働者と労働者代表が再び基本的権利を自由に行使できるようにする。